



桜の花も満開となり、色とりどりにさまざまな花が咲きほこる美しい季節となりました。

入園や入学など新しい生活やお友達との出会いに心も弾んでいらしゃることでしょう。早寝・早起き・朝ごはんの習慣を身につけて元気に過ごしましょう。

3月の「あすなろ」利用状況

上気道炎 : 11人
RSウイルス感染症 : 3人
気管支炎・肺炎 : 2人

合 計 : 16人

感染症情報

3月23日時点の熊本県の感染症情報では、感染性胃腸炎が658件と一番多く、次に新型コロナウイルス感染症253件、インフルエンザ107件の順に報告されています。

百日咳が増加傾向にあります。百日咳は普通のかぜ症状で始まり、次第に咳の回数が増え、程度が激しくなります。

飛沫・接触により感染しますので、手洗い・うがいやマスクの着用等基本的な感染対策を心がけ、感染を予防しましょう。また、咳が長引く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。(熊本県感染症週報より)

ある日のできごと

2歳児のUちゃんは、お喋りがとっても上手な女の子。今日も朝から絶好調で、Uちゃんワールド全開です。声のトーンや仕草に表情、楽しくて仕方のないことや伝えたいことが山ほどあって、目の前には聞いてくれる人が居て、瞳の中にはキラキラ星が見えるようです。(笑)

そんなUちゃんのお楽しみの1つは「ママの特製お弁当」。朝からお弁当のチェックが毎度の恒例行事です。

お弁当のフタを開けただけで(時間は…まだ午前9時前…)幸せそうな満面の笑顔。見ている私も幸せのお裾分けをいただきます。そうするうちに、待ちにまったお弁当の時間となりました。1回確認済のお弁当ですが、2回目もワクワクでお弁当愛が止まらない様子です。

小さめのおにぎり・ウィンナー・卵焼きetc.デザートには「いちご」つきです。しっかり噛みしめながら、口いっぱい頬張る姿は美しすぎて、今にもほっぺが落ちそうです。米粒ひとつ残さず完食するのに約30分。Uちゃんにとって至福の時間となったようです。

「ママにありがとう言わなんね～」と声をかけると、突然椅子に立ち上がり窓の外に向かって「ママ～おべんとうありがとうー。おいしかったよ～」とびっくりするくらい大きな声で感謝の言葉を叫ぶUちゃん。きっと、ママのお仕事場にも届いたんじゃないかな～?なんだかとても心の温まるワンシーンでした。

～あすなろ川柳～

届くよね
声も想いも
ママのもとへ



百日咳に注意しましょう

①原因：百日咳菌

②潜伏期：7～10日間。21日後まで発症の可能性があります。

③症状：咳などの感冒様症状で発症。1～2週間続きその後激しい咳をともしさらに激しく空気を吸い込む症状が出現します。この繰り返し(レブリーゼ：激しい咳と空気の吸い込みの繰り返しのこと)のため苦しい咳が続く、嘔吐や呼吸困難となります。乳児では無呼吸や脳症を起こし重傷化することがあります。全経過は10週間前後続きます。予防接種を受けていない乳幼児、あるいは抗体の低下した成人に発症することが多く、乳幼児への感染が増えてきています。乳幼児では一般的に入院の適応となるでしょう。

④治療：診断が確定され、抗生物質の内服が開始されていれば5日間程度で感染性は消失します。従って治療開始5日間は隔離室での管理が必要となります。飛沫感染対策と標準予防策が必要です。

⑤登園基準：特有な咳が消失するまで登園できませんが、7日間の適正な抗生物質による治療を終了し、医師の許可が出たら登園できます。

<看護のポイント>

①百日咳にかかった父親、母親、兄弟から子どもが感染する危険性はかなり高いと報告が多数あります。家の中で激しい咳をしている人がいないかということも確認しておきましょう。

②生後2か月になったらワクチン接種を受けましょう。生後6か月未満でワクチン未接種、特に2か月未満のワクチン開始前の乳児は、重症化する危険性があり、入院率、死亡率ともに高くなります。(病児保育マニュアル Vol. 2より)



<お知らせ>

4月から新しく、飯川(保健師)があすなろのスタッフになりました。よろしくお願いします。

